

●本市の総合戦略の取り扱いについて

本市では、地方創生の推進にあたり総合戦略に基づく取組みに対する地方創生関連交付金の交付や地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)の特例適用等、地域再生法による支援措置を活用しています。

地域再生法に基づく継続した国の支援措置を活用するにあたっては、令和8年4月1日時点で効力のある総合戦略を有している必要性があります。

現行の総合戦略が令和8年3月31日をもって計画期間を終えることから、その取り扱いについては次のとおり対応することとします。

①総合戦略を延長します。(令和13年3月31日まで)

第2期亀岡市総合戦略は、第5次亀岡市総合計画(以下、総合計画)における重点テーマである①子育てしたい、住み続けたいまちへ、②スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ、③世界に誇れる環境先進都市へ④だれもが安心して暮らせる防災・減災、セーフコミュニティ、多文化共生のまちへ、⑤次代をリードする新産業を創出するまちへを政策の基本目標として位置づけた計画として策定したものです。

そのため、総合計画と一体的な施策の推進を進めていくため、総合計画の計画期間(令和12年度)との整合を図り、第2期亀岡市総合戦略の計画期間を延長します。

②総合戦略の延長に伴い、第5次亀岡市総合計画の指標「目指す目標」と整合図り、次のとおり指標の目標値を再設定します。(変更箇所は赤字で記載しています。)

基本目標	指標(重要業績評価指標 KPI)	現状値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6 末時点)	目標値(R12)
子育てしたい、住み続けたいまちへ	待機児童数	85人	0人	244人	0人
	(旧)京都府学力診断テスト結果※ ¹ (京都府平均を100とする)	小学校 98.7点 中学校 97.1点	小学校 100を上回る 中学校 100を上回る	小学生 国語▲ 算数▲ 中学生 国語▲ 数学▲	全国平均以上
	(新)全国学力診断テスト結果による 全国平均以上※ ¹	—	—	—	—
	生涯学習事業(三大シンボル講座)への参加者数	3,913人	4,300人	2,575人	3,500人
	都市公園整備面積	72.24ha	129.5ha	75.01ha	129.5ha
	健康寿命の延伸	平均寿命 男性:82.6歳 女性:87.1歳 健康寿命 男性:81.2歳 女性:84.3歳	平均寿命の延伸分を上回る健康寿命の延伸	平均寿命の延伸 男性:▲0.3歳 女性:0.8歳 健康寿命の延伸 男性:▲0.6歳 女性:▲0.3歳	平均寿命の延伸分を上回る健康寿命の延伸
移住相談窓口を利用した年間移住者数	28組	40組	38組	40組	

基本目標	指標(重要業績評価指標 KPI)	現状値(R1)	目標値(R7)	実績値(R6 末時点)	目標値(R12)
スポーツ、歴史・文化、観光の魅力で産業が輝くまちへ	年間観光入込客数	3,473,829 人	3,680,000 人	3,149,612 人	3,700,000 人
	市公式 SNS フォロワー数の市人口比割合	8.3%	55%	51.3%	60%
	市民の内、生涯スポーツ事業参加者割合	14%	20%	33%	20%
	かめおか霧の芸術祭での参加者満足度	92%	95%	90%	95%
	文化資料館の年間来館者数	10,515 人	35,000 人	5,408 人	35,000 人
世界に誇れる環境先進都市へ	エコバッグ持参率	84.4%	95%	98.1%	100%
	市域全体の温室効果ガス年間排出量	427.3 千 t	減少	378 千 t	293 千 t
	資源化率	15.68%	19.5%	18.03%	42.1%
	遊休農地・耕作放棄地面積	19ha	12ha	7ha	12.5ha
だれもが安心して暮らせる防災・減災、セーフコミュニティ、多文化共生のまちへ	定員に対する消防団員の確保比率	99%	100%	93%	100%
	安全安心を推進する市民参加型事業へのボランティア	348 人	1,000 人	975 人	1,500 人
	年間交通事故死傷者数	165 人	135 人	161 人	135 人
	年間刑法犯認知件数	354 件	336 件	203 件	200 件
	「亀岡市まちづくりアンケート」にて「人権が尊重されているまちだと思う」の割合	—	50%以上	32.2%	50%以上
	外国人相談窓口での相談解決率(適切な機関へつなぐことを含む)	—	100%	100%	100%
次代をリードする新産業を創出するまちへ	亀岡市企業立地促進条例に基づく奨励制度を利用した累計企業誘致数	44 件	57 件	56 件	61 件
	スタジアム周辺地域への商店累計立地数(JR 亀岡駅北口エリアにおける商業店舗)	2 店舗	10 店舗	11 店舗	15 店舗

※1 京都府学力診断テストが令和3年度以降実施されていないことから指標値の変更に至りました。